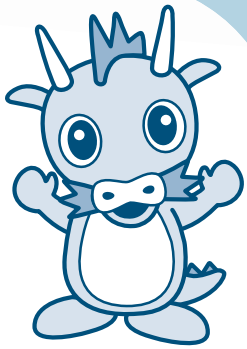
パートナーシップさいたま広報誌
（さいたま市男女共同参画推進センター）

鐘の音

～ か ね の ね ～



大宮の古い地名「鐘塚」。そこに建てられた「パートナーシップさいたま」から
男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、そんな願いを込めて名づけました。

vol.52
2024.10 発行

市民企画講座紹介

サンゴクエスト体験会　～様々な視点から選択肢を考えよう～

●開催日　11月22日(金)

実施団体　PROTON

サンゴクエストは、ペアで妊娠期～子育て期を疑似体験・追体験しながら対話を重ねていくすごろく型ボードゲームです。

産前産後に起こりうる様々な出来事や心の動きを、誰もが体験できるように開発されました。二人一組となり（ママ役とパパ役）進めていきます。ボード上のマスは先輩ママ・パパの体験談や、赤ちゃんの発達などを参考に作成しており、妊娠したころから、赤ちゃんの1歳誕生日までを追体験できるものになっています。妊娠中・子育て中の方だけでなく、企業の人事の方など、子育てやパートナーシップに興味がある方も参加できます。

「お互いが笑顔になるために何ができますか」を考えてみませんか？

自分・仕事・キャリアを大切にしながら子育てを楽しむ "おしゃべり会"

実施団体　埼玉県在宅ワーカースキルアップOG

働くことと子育てや介護の両立に課題を持つ女性を支援し、課題解決に向けアプローチを行なっていく講座です。

市内の多様な参加者を集め、「あったらいいな」と思う子育て支援のアイデアを話し合い、働く女性が直面する困難を解決する手がかりを探ります。

働きたくても働きづらさを持つ女性の現状について、分かりやすく課題を共有し、一歩を踏み出すきっかけにしていきます。

詳細は、決まり次第、パートナーシップさいたまのホームページでご案内いたします。

p２　公募型共催事業のご紹介
p３　講座レポート
p４　相談のご案内／DV防止セミナー
　　国際男性デー／編集後記

相談情報は4ページをご覧ください。

公募型共催事業のご紹介

公募型共催事業の参加レポートとご紹介をします。

Dulces（ドルセ）主催　女性の社会活動を応援する、託児付きワークショップ　デザインアプリ「Canva」で簡単デザイン講座

Ｄｕｃｅｓ（ドルセ）が主催する託児付きワークショップ『デザインアプリ「Ｃａｎｖａ」で簡単デザイン講座』がパートナーシップさいたまで行われました。

講座の内容は、Ｃａｎｖａで作成したデザインをアクリルシートに印刷するというものです。

講座の参加者は、Ｃａｎｖａの使い方を学びつつ家族との思い出の写真を印刷するなど、楽しく制作を行いました。

講師の宇野ジェシさんは「思い出を制作物にして形を残すことで、参加者が喜んでくれてよかった」と話します。講座で学んだ内容は自宅でも実践できるほか、チラシ作りなどの仕事にも応用できるため、自身のスキルアップにつながるでしょう。

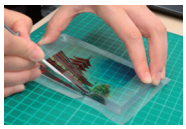
Ｄｕｃｅｓはさいたま市を中心にワークショップや講座を行う団体で「子育てのちょっと息抜きに」をコンセプトに活動しています。ワークショップの内容は託児付きのハンドメイド講座から将来設計など、趣味から勉強になるものまでさまざまです。

ワークショップに参加している間はボランティアスタッフが子どもたちと遊んでくれるため、自分の時間を過ごせます。さらに、託児最中の写真をご家族に共有することで、子どもの意外な一面を知ることもできるでしょう。

講師の宇野さんは「孤独を感じずに精神的に安定して子育てできる社会になるとうれしい」と話します。Ｄｕｃｅｓは独自の活動やさいたま市の公募型事業を通じて、講座やセミナーを今後も開催し、女性の社会活動を応援する予定です。

講座は気軽に参加できるため、子育てをされている方や交流をしたい方は各種ホームページをチェックしてください。

（福田　聖也）



一般社団法人MAMALABO主催　自分らしく生きる！自立型ママメソッド講座

講座を聴いて一番共感した内容は、自分の子どもが悲しいとこちらも悲しくなり一緒の心になってしまうという内容でした。本当にその通り！と思いました。そこで大切なのは、どうしたら自分らしく生きていけるかということです。そのためには自分の人生を自分でコントロールしていくことが必要だと分かりました。人は無意識に行動していることがほとんどで、意識して行動していくと自分や他者を変化させられるということでした。例えば日頃、家族に挨拶をしていなかったとします。意識して朝自分から「おはよう」と言うことをまず３週間やってみる。このようなポジティブな行動を意識すると他者にもポジティブな影響を与えるということです。確かに意識して行動しないと自分の内面、ましてや人生をコントロールできないだろうと思いました。

自分をコントロールして自律していくのは難しいと思いますが、家族や職場の人に挨拶をしたり、相手の方に顔を向けて話を聞いたり、小さなことからなら始めやすいと思いました。人は頼ったり頼られたりしながら生きていきます。藤井さんの講座を聴いて、いざというときは相手に頼られてもいいように少しずつ自立する習慣を身につけていきたいと思いました。

なかなか自分や他人の気持ち・行動のモヤモヤした部分に気付かないですが、講座に参加すると気付くことができる良い機会になるので皆さんも是非参加してみてほしいです。

（Ｏ．しほ）

さいたま市男女共同参画推進センターと、団体が協働で実施することで、地域における多様な課題の解決につなげていくことを目的として、公募型共催事業を実施しています。

今年度は上記２団体も含め、全部で６団体が実施中です！

①蒼い空の会
あおいそら　こころのケア講座

②AKJ.Commu
ジェンダーレス・コミュニケーション講座

③さいたま市女性学研究会
ワークショップ「ブックトーク」／図書情報紙「ゆい」作成

④TG＋NBの会
トランスジェンダー・Ｘジェンダー（ノンバイナリー）当事者ミーティング

⑤一般社団法人MAMALABO
自分らしく生きる！自立型ママメソッド講座

⑥Dulces
女性の社会活動を応援する、託児付きワークショップ

詳しくはホームページをご覧ください

講座レポート

パートナーシップさいたまで実施した講座をご報告します。

令和６年度　男女共同参画週間記念事業

ジェンダー平等ってなんだろう？　一人ひとりが幸せに暮らせるHappyな考え方

講師：アルテイシア さん（作家）

アルテイシアさんの講義は、エピソードや実例をたくさん盛り込み、わくわくするものだった。

ジェンダー平等は、最も身近なテーマだ。講義を聞く前に思ったのは、平等とは何かということ。憲法には、「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」とある。しかしながら、世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数は、直近で118位と低迷が続く。なぜ、日本でジェンダー平等は進まないのか。

講義を聞き、改めて声をあげ続ける大切さに気付いた。この国で生まれ育つと、現状が当たり前になり、疑問すら抱かなくなる。おかしいと感じても、思いを封じ込めてしまう。

かつての私もアルテイシアさんと同じだった。「女の子なんだから」おとなしくしていなさい。「女のくせに」そんなに勉強してどうするの。あらゆる場面で女の子としてのふるまいを期待され育った。この社会を窮屈に感じた私は25歳で一度米国へ飛び出し、強くなって戻って来た。以降、男性中心の製造業に身を置いて30年、自由に意見を言えるようになったと思う。

社会や仕組みに合わせることは、どの世界でも必要だ。多数意見が強いのは避けられない。それでも、楽だからと迎合ばかりしていては人々の意識は変わらない。思いを表明する意義を忘れないこと。その意識を持ち続けることが、ジェンダーのみならず様々な不平等を少しでも減らすことの一歩になると学んだ。（豊田　真美）

「地域社会の中のダイバーシティ（多様性）」講座　@埼玉大学

大学生の授業に参加させていただき、多様性推進の意義に触れた7日間だった。

まず、自分が「障害者で外出することになったら?」という講師・河合麻美氏からの問いがあった。私はこれまで事故に遭うことなく生きてこられたが、最近外出が恐い。街は障害者に対応していないから。これは、自分ごとになって初めて分かる辛さ。私は日々のモヤモヤは実は地域や社会の問題ではないかと漠然と感じてはいたが、どう解決したら良いかわからなかった。だから講師が、障害があっても無くても誰もが安心して暮らせる包含社会を目指すNPOを立ち上げたという勇気ある行動に感動してしまった。

また、ジェンダーが多様性の達成度を測る最初の、そして重要な視点であるからこそ、意思決定の場に女性が少ない事が問題になると知った。どんなに能力のある女性でも昇進時にはまず家庭の事情を考えない人はいないだろうし、多くは最初から諦めているのではないか。

男性はどうか。私はこのままでは男性がますます家に居場所が無くなるのではと心配だ。男女が協力し家事やケアをシェアすれば、年収も年金も多くなるとの試算がある。正規で働く女性ほど生活満足度が高いとか。国は女性に働いてもらい税収を上げ、出生率も上げたい。そうしたくてもできないから少子化は進む。まだまだ男性の後押しが欲しいし、社会の後押しが必要だ。学んだ事を折りにふれ周辺に話し、広げるつもりだ。（Mみえこ）

講座の実施報告書はこちら

マザーズハローワーク大宮共同事業　就職支援セミナー　～就職活動の基本～

「こんにちは!」と明るい声で始まりました。私は一般的なハローワークしか知りませんでしたが、ハローワークプラザ大宮には、埼玉わかものハローワーク、35歳からの就活サポートコーナー、マザーズハローワーク大宮があり、年代・状況別に仕事が探せることを知りました。

「マザーズハローワーク大宮」の事業内容は、①求人検索・仕事の情報の提供、②就職支援セミナー、③職業相談・紹介、④担当制による個別支援ということで、キッズコーナーもあり、専門の見守りスタッフが常駐しているそうです。大宮駅近くにあり、買い物や用事のついでに寄れて助かると思いました。

仕事をしたいと考えた時、何をやればいいかわからずモヤモヤしがちですが、講座のワークを通じて、自分を見つめ直すいい時間になりました。

講師の方からは、①「あなたの働く目的は?」パートなのかフルタイムなのか、収入が欲しいのか等をまとめておくことが大事。②「目的を達成するためにどんな働き方をイメージしていますか?」以前働いていたところと同じようなところ?土日は休みたい?など人それぞれ、という話がありました。「わからないことは1人で悩まず何でも相談してください!」とお声がけもありました。子どもがいる人でも、ある程度じっくり考え、相談しながら長く続けられるような就職先を探してみたいと思えるような講座でした。（武田　礼子）

相談のご案内

●相談は無料です。●秘密は厳守します。

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室 子ども家庭総合センター内	☎048-711-6650
月～金／10:00～20:00　土・日・祝／10:00～16:00 （年末年始を除く）	
浦和区役所 女性の相談室	☎048-829-6129
月・火・水・金／10:00～17:00（祝日・休日・年末年始を除く）	
中央区役所 女性の相談室	☎048-840-6132
火・金／10:00～17:00（祝日・休日・年末年始を除く）	
岩槻区役所 女性の相談室	☎048-790-0158
月・水／10:00～17:00（祝日・休日・年末年始を除く）	

●男性の悩み電話相談

男性の生き方、仕事、家庭、夫婦、人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室	☎048-711-6101
第２・第４日曜日／13:00～16:00	

●女性のDV電話相談

☎048-762-3880
月～金／10:00～17:00（祝日・休日・年末年始を除く）

●女性のための法律相談（予約制）

女性の弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第２水曜日／13:00～15:50（30分単位）
実施場所	男女共同参画相談室 予約電話☎048-711-5739
実施日時	第１・第３火曜日／13:00～15:50（30分単位）

●男性のための法律相談（予約制）

弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第４水曜日／16:30～19:20（30分単位）

●女性のための心の健康相談（予約制）

専門の女性の医師が相談に応じます。

実施場所	男女共同参画相談室 予約電話☎048-711-5739
実施日時	第３火曜日／14:00～16:45（45分単位）

HPはコチラ▶

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間です

パートナーシップさいたまではこの運動にちなみ、DV防止セミナーを開催します。

テ ー マ　「取材から見えた若年女性への暴力の真実」
講　　師　上間　陽子さん
動画配信期間　令和６年11月１日（金）～11月30日（土）
申込方法　令和６年10月３日（木）～11月20日（水）に、パートナーシップさいたまホームページからお申込みください。

11月19日は「国際男性デー」です。

「男性・男児の健康に目を向けジェンダー平等を促す」を趣旨として、1999年にトリニダード・トバゴで始まったとされています。
パートナーシップさいたまでは、「国際男性デー」を記念して、講座を実施します。オンラインZoomミーティングを用いてのライブ開催です。

テ ー マ　「『非モテ』から考える男性の生きづらさ」
講　　師　西井　開さん
開催日時　令和６年11月15日（金）19時～20時45分
定　　員　先着30名
申込方法　令和６年10月３日（木）９時より、パートナーシップさいたまホームページからお申込みください。

〈編集後記〉

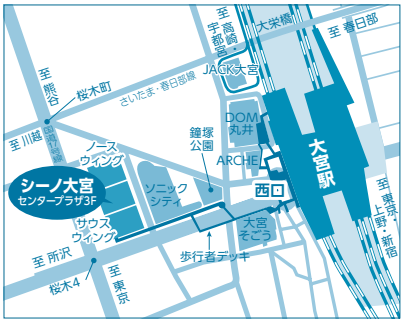
先日、医療保険の見直しに保険会社の窓口へ行きました。「医療特約はお子さんが大人になるまで付けてもいいですね」と言われました。子どもが大人になったら私はお金をかけてまで治療する必要もないのかな…。親の命より子どもの人生が大切と分かっていても改めて言われるとグサッとくるものです。中高年の皆さんお互い励ましあっていきましょう。　（O.しほ）

今年の夏は暑かったではなく暑すぎました。あまりの暑さに予定がある日以外は外に出ないようにして、講座も受講できるのか感想は書けるのかと思っていました。参加した講座ではいろんな人と話ができて元気をもらえていつまで活動できるかと感じた夏でした。　（武田　礼子）

出身大学のレディースクラブに加入し、留学生向けの日本語ボランティアを始めました。オリジナルの会話練習文を作り、市販のテキストも参考にしながら教え方を考える作業はとてもクリエイティブです。20代前半の留学生との交流は生活の新たな刺激となり、教えを通じて自分自身が学ぶ楽しさを得ることができました。（豊田　真美）

埼玉大学の講座には男子学生が多く、ジェンダー平等は若い人の間に自然に受け入れられていると感じた。議題も別姓・育休・育児と仕事・DV・理系女子と多い。いっそ後戻りし底ついたら早い？いや崖っぷち！悲観的にならずに進めねば。新緑の大学は爽やかで私も若い人と同時代を生きていると実感できた事が大きかった。　（Mみえこ）

講座で話を聞く中で、子育ての大変さや社会的支援の受けづらさを感じました。子育てに対する悩みや問題は各家庭であると思いますが、同じ状態の人やすでに解決した家族もいます。講座へ参加して話を聞くだけでも解決できる可能性があると思いました。
社会全体で子育てをする人が少しでも自分の時間を持てるように活動していきたいと思います。　（福田　聖也）



JR大宮駅西口 徒歩8分
自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。

さいたま市

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。
郵便、電話、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままでお願いします。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.52　2024年10月１日
〈編集・発行〉
さいたま市男女共同参画推進センター（愛称：パートナーシップさいたま）
編集員／O.しほ、武田礼子、豊田真美、福田聖也、Mみえこ
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ３階
電話　048-642-8107　FAX　048-643-5801
E-mail：danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

◆ホームページもご覧ください◆　パートナーシップさいたま　検索

10・３月発行（年２回）
この広報誌は42,000部作成し、１部当たりの印刷経費は10円です。